2020年12月某日

差枚	-2422枚	RANK	C

実戦機種

SLOTバジリスク～甲賀忍法帖～Ⅲ、ハイパーブラックジャック、ほか

実戦レポート

2020年も終わろうとしているこの時期、パチスロ業界でも一つ大きな動きがあった。ほとんどどのホールにも設置されていた「ミリオンゴッド-神々の凱旋-」の撤去期限である。すでにその大行事は済んでおり、決して少なくない台数を占めていた黄金の筐体の穴埋めに何を導入したのか、それによって各ホールの狙いが見えるような気がしないでもない。実際はそこまでの大した意図はないホールばかりだと思うが、今回のホールはなんとその跡地にまるまる「SLOTバジリスク～甲賀忍法帖～Ⅲ」を5台も導入したのだ。一般的には決して人気の無い、それでいてオレ個人としては大好きなバジリスクⅢが5台。これはもう、打つなという方が無理な話だ。

というわけで朝イチはまず、もっとも目立つカド台のバジリスクⅢからスタートしたのだが、その内容はというと、なかなかどうしてそこそこ良い挙動である。推定2周期以内でのCZ当選が続き、クリア率のヒキも良い。さらには、CZ当選→終了後、即前兆から再びCZ当選という、設定3、5、6で出やすい挙動も確認。もう一息だ。もう一押し、高設定を思わせる材料があれば粘れる！　…というところで、CZ非当選の周期が連発して「はい、設定6の期待度急降下～」。やっぱり、ゴッドの後釜にそのまま高設定を期待するというのは、淡い夢なのだろうか…。

ということで、メイン機種の中で過去に高設定を確認しているまどマギ2、バジリスク絆2、番長3なんかを少しずつ触ってみるも、さして手応えはなし。ううむ…となると、やはり気になるのはバジリスクⅢだ。このシマをまともに攻めるのなんてオレぐらいなもので、朝イチのCZ恩恵だけ回されたあとはそのまま放置、となっている台が残り4つ。1人で全部を調べるのはキツいが、あと1～2台ぐらいなら…ええい、行っけー！　まずはさっき打ったのとは逆の内カド台から！すると、CZよりも先に当選したのは、設定差のある巻物からのバジリスクチャンス。しかもテンパイボイスが設定4以上で出現率が跳ね上がる高設定示唆セリフで、今度こそ貰ったか!?　…んが、肝心のCZが周期抽選を連続スルーしてしまい、またも設定6の期待度が激減～。正直、このバジリスクⅢぐらいのスペックで設定4や設定5「かもしれない」程度の台を打つのは、リターンよりもリスクの方が大きいと言わざるを得ない。そういう意味では、まだ6号機の方が同等の設定条件でも勝負に値することが多い。一撃性が抑えられている分、通常時のメダル持ちが上がっており、リスクが減っているからだ。そして設定4・5の安定性も5号機に比べれば高い。結局このバジリスクⅢはヤメて、数ヵ月前に導入されてから目立った出玉のない「ハイパーブラックジャック」を打ったのだが、これまた設定6は絶対ないけど設定4ぐらいはあるかもな～ぐらいの展開で、全く良いところナシの負け。バジⅢを続行するのが良かったのかなぁ…。